



とある独房

初秋の宵。

黒妻綿流は、一日の終りに
とある手紙を読んで思いを馳せる。

そのとある手紙の送り主は、
「固法美偉」

黒妻の最も気に掛けている少女だ。



黒妻はこの手紙が大好きだ。
枕元には常に
何かしら手紙がある程で…

ここ最近の手紙に関しては
飽くことなく、同じ内容を
何度も読み返している。

なぜなら、彼女は今、
「実験動物オランウータン」の飼育係。
その字面だけでもわかる喜劇がこの手紙にはあつて
右往左往、奇々怪々…

それが彼女の綺麗な文字と、
下手くそな四コマ漫画を
織り交ぜて黒妻を夢中にさせる。



しかし、何よりも黒妻が
この手紙で心が動かされるのは、
この期間の彼女の成長。
始めは戸惑いワガママな猿に
嫌悪さえしていた彼女が
今は、しっかりと飼育を勤めていて…

それがまるで子と母の様で
手紙が送られてくる度に、
良き母親に近づく彼女が今の黒妻を強く揺さぶる。

だからこそ、
黒妻はこの手紙を何度も読み返して
いつもの様に、以前送られてきた
写真を手に取って、思いを馳せる。

邪魔する

押してくる

先輩の手紙書けないッ

猿と共に取られたこの写真。
良き母親なると知った少女の無防備な姿。





邪魔する

先輩の手

それを見ながら思いを馳せる。
柔らかさや、香、色、
輪の大きさ等の見えない
部分を想像して：

自身を慰める様に
今日も独りで：

思いを馳せる。



そして、時を同じくして、
彼女は黒妻への手紙を執筆中でいた。

むむむ...

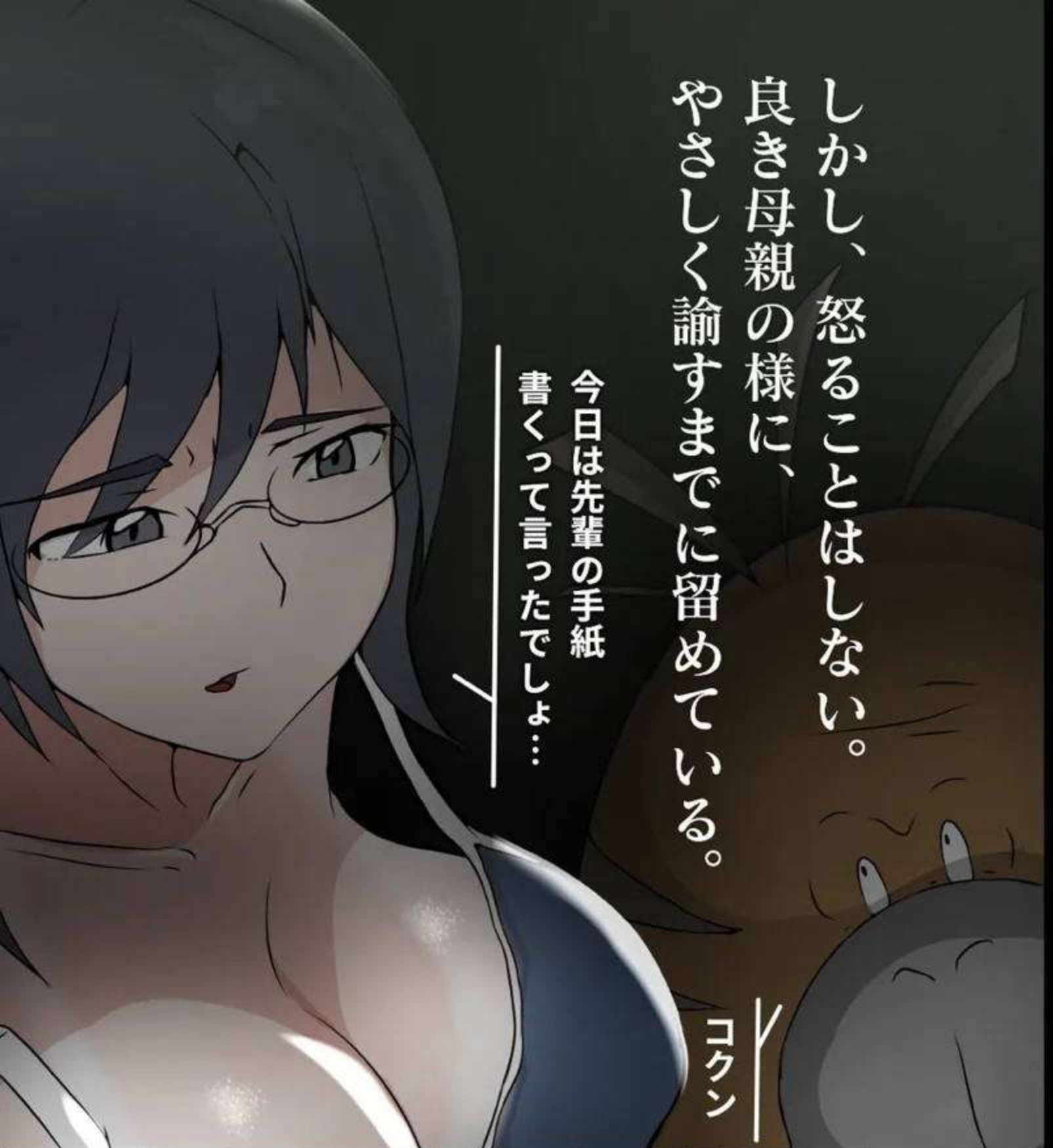
ジ...

スリスリ...

少し急いているのは、遅れを取り戻す為。
だけど、いつもの様に横槍が入る。



もう…
邪魔しないの…



しかし、怒ることはしない。
良き母親の様に、
やさしく諭すまでに留めている。

今日は先輩の手紙
書くって言ったでしょ…

コクン



でも、猿の異様さを感じ取ったのか
彼女は慌てて…

ギッ!

ガタガタッ!

あっ!
フォーエバーッ

ガタガタッ

謝りながら

ガタガタッ

ご、ごめんねッ
辛かったねッ!

はいッほら、
ちゅっちゅしていいよッ

ボロンッ

服をたくし上げて猿に胸を与える。
それは、まるで赤子をなだめるかの様に
躊躇ないことで…

ガタガタ…

ごめんね…
今日は…

これは日常茶飯事
なんだと察する。

へろ…

レロレロ…

大丈夫ってえ…

レロレロッ

んガシッ！

思っちゃったあ…
あ…んんツ！

ムム♡

そして、彼女は安堵の後、
手紙の続きを書き上げようと
作業に戻るが…

猿の異変はまだ収まらず
書こうにも書けない状態だ。

ちゅっちゅ♡

おめシ♡

そーじやシ♡

あっ♡

ちゅー♡

ぐぐぐ

ぐへり♡

にシ♡

あっ♡

だから黒妻への手紙は…

はい…

食べていらっしゃいよ…

あっ♡

じゅる…がつつかないの…

じゅるッ
ちゅッ

またそのままです…

あッ…
んっ…

い、いつもより…
凄い…

この子、思ったより
辛かったんだ…
迂闊だったな…

猿を落ち着かせる為に
体を使ってなだめている。

これもよくあることなのだろう。
手際よくすぐに股を開いて
猿に与えた。

ふがあ
ふがあ…
じゅるるッ
じゅるる…

んんッ…





実験天才…
オラウータン…

この子は何の為に…

そこには、嫌悪感は一切無く。
ある種の業務感と
猿への同情と愛しさがある。



あつ…

ズポッ

先輩…私は…
どうすればいいか…



こ、こら…フアーエバー…
キスは…先輩とって…

ハッ…ハッ
オボウー
オボーッ

でも…
もうこの子の為には…

ここに至るまでに彼女は
この猿と色々あったのだろう。
猿のことを色々知ったのだろう。
故に、
この猿の境遇と今後を憂いている。

だから…

ごめんなさい…
先輩…

だからこそ、
彼女は黒妻に謝る。



寝そべり、股を大きく開いて謝る。

いぬなわい...



仕方のないことなのだと…

言い訳をを紡ぐ…



その初秋の宵。
とある大きな嬌声が響く頃…



奇しくも、同じ女性に…
同じ想いが向けられる。



あッ

あッ

ふぐう！



「産ませたい」と一人の女性に強い思いが向く。



だけど、届いたのはその内の一つ。

それ以外は、虚空の彼方。



しかしそれでも、それ以外は、
強く虚空へ思いを向け続ける。

何も知らず
きつといつかはと思いを飛ばす。



初秋、晩秋、厳冬を越えて…
春を向かえても尚…

固法さんツ
頑張ってツ！

おお、すごいな…

なんで…

何で
こんな格好…

なんで…
男の人ばかり…

なんで…
この後、この人達と
エッチしなきゃいけないの…

とある独房から…
ひたすら思いを馳せている。